

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51200	農業振興地域整備計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	高山農業振興地域整備計画	市長公約
	課			5	農林水産業費	基本分野		1	産業・労働		実施計画事業	
担当課	農政部 農務課		内線	項	1	農業費	総計	5	農業	H28実施計画額	82,000	千円
	2227			目	2	農業総務費		施策概要	1		活気ある農業生産地づくり	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 農業者	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の近代化のための必要な条件を備えた農業地域を保全し及び形成することを目的とする。 ・農業共済事業を共同処理する事務費と事業費の一部を負担し、運営コストの削減と農家の経営安定を目的とする。 ・各種団体との情報交換等による農業の振興 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興計画(農地利用計画)により、集团的優良農用地の確保に努めるとともに、農業者等地域の諸情勢の変化に対応できるよう計画の変更等の管理を行う。 ・飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等への加入(負担金支出)
	対象者数	4,486 戸				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域の情勢の推移による編入・除外については、予定どおりに事務処理ができた。 ・認定農業者制度の普及啓発、認定農業者等に対する経営相談・経営指導、認定農業者組織の育成強化 ・水稲共済の引き受け面積は2,898ha、園芸施設共済の引き受け棟数13,341棟となった。 ・農業関係団体との連携強化 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	農業振興地域整備促進協議会の開催	回	目標値	1	2	2	1
	算出根拠等	1回以上/年	実績(見込)	1	1	2	
成果指標	農振農用地区域内 農用地面積	ha	目標値	5,454	5,446	5,438	5,438
	算出根拠等		実績(見込)	5,446	5,438	5,410	
活動指標	共済加入推進等農業者への周知	回	目標値	5	5	5	5
	算出根拠等		実績(見込)	5	5	5	
活動指標	会議開催回数(地域農業再生協議会)	回	目標値	19	19	19	19
	算出根拠等		実績(見込)	16	14	19	
成果指標	米の需給調整面積	ha	目標値	1,836	1,741	1,692	1,692
	算出根拠等		実績(見込)	1,830	1,735	1,671	
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・優良農用地を確保するために無秩序な農地の開発等を抑制していく必要がある ・園芸施設共済の引受戸数は前年と同数で推移しているが、引受棟数は増加傾向にあることから、担い手への集積が進んでいると考えられる。 ・園芸施設共済の棟数加入率は64%と推測されるが、局所的な災害が増加していることから、今後も各種共済の加入促進に努める。 ・各団体は積極的に活動しているが、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・優良農用地を守るとともに、その保全と有効活用の観点から、客観的・中立な立場で公正な判断をし、農業振興地域の整備に関する法律に基づき適正処理を行なうことで、持続可能な農業を目指す。 ・組織体強化計画及び第3次事務改善実施計画の早期実現に努める。 ・災害補償等を受けられない農業者を減らすため、各種共済制度の加入を促進する。 ・事業効果の検証に基づき、より効果的な事業となるよう方法の見直しを行う。 						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	○維持・改善	拡大	○維持・改善	縮小	○維持・改善	廃止検討
	○維持・改善	拡大					
○維持・改善	縮小						
○維持・改善	廃止検討						
二次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・優良農用地を守るとともに、その保全と有効活用の観点から、客観的・中立な立場で公正な判断をし、農業振興地域の整備に関する法律に基づき適正処理を行なうことで、持続可能な農業を目指す。 ・飛騨農業共済事務組合の行財政改革を積極的にすすめる必要がある。 ・各種共済制度の加入を促進する。 						
二次評価	<table border="1"> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	○維持・改善	拡大	○維持・改善	縮小	○維持・改善	廃止検討
○維持・改善	拡大						
○維持・改善	縮小						
○維持・改善	廃止検討						

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	81,807	82,650	82,744	83,692
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	18,236	18,424	18,445	18,656
	受益者 H22 農業センサス農家戸数	(B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・法律に基づいた適正な事務処理による優良農地の保全と有効利用 ・農業振興地域整備促進協議会の開催 ・認定農業者等に対する経営相談、指導、情報提供、組織の育成強化 ・関係団体への負担金 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画の見直し(情勢の推移) ・認定農業者制度の普及啓発及び各種支援 ・農業共済事業の共同処理(飛騨3市1村で共同運営) 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者等地域の要請に対応した集団優良農地の確保 ・各団体の活動状況を把握し、事業効果を検証する必要がある
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	82,744	83,692	948	83,637	83,637	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	45	46	1	45	45		
一般財源	82,699	83,646	947	83,592	83,592		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51300	内線	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	基礎産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	課			5	農林水産業費	1		産業・労働	実施計画事業			
担当課	農政部 農務課		2225	項	1	農業費	基本分野	5	農業	H28実施計画額	22,000 千円	
	目	3		農業振興費	1	活気ある農業生産地づくり						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 農業者	どうしたいのか (意図)	・地域の中心となる農業経営体への農用地利用集積を促進し、不作付地の解消を行う。 ・高山営農推進協議会が、地域農業の現状把握、課題整理、解決方法の検討、各種研修会を行い、地域農業の活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・「人・農地プラン」に基づき、地域の中心となる農業経営体への農地集積や集約化を推進する。 ・立地条件に合った水田の有効活用を促進する。 ・農業経営体の育成及び強化を行うための講座や研修会を開催する。 ・農業改良組合や営農推進協議会などの農業者団体との連携強化を図る。
対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。 ・米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付転換を推進し、水田の有効活用を図った。 ・水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を推奨し、稲作経営の安定生産を図った。 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	農業改良組合への生産調整の確実な実施に向けての周知回数	回	目標値	5	5	5	5
				実績(見込)	5	5	5	
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
				目標値	1,360	1,370	2,087	2,149
	成果指標	担い手への農地利用集積面積	ha	実績(見込)	1,970	1,933	1,940	
				達成率(%)	145	141	93	
	成果指標	算出根拠等		目標値	1,700	1,700	1,700	1,700
				実績(見込)	1,300	1,098	1,114	
	成果指標	水稲共同防除実施面積	ha	達成率(%)	76	65	66	
				目標値	3	3	3	3
	成果指標	農業普及パンフレットの配布	回	実績(見込)	3	3	3	
				達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	認定農業者数	経営体	目標値	600	610	562	567
実績(見込)				563	554	546		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	94	91	97		
			目標値	183	183	183	183	
成果指標	自己保全管理地の面積	ha	実績(見込)	222	230	247		
			達成率(%)	121	126	135		
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・さらなる不作付地の減少に向けて、農地の集積・集約を推進し、利用権設定面積の増加を図る。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	○維持・改善	・「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、改良組合や一定の地域ごとにおける人と農地の課題について地域の農業者とともに話し合いをすすめ、地域の中心となる経営体への農地の利用集積を促進する。 ・農地中間管理機構が農地の中間的な受け皿となって貸し借りをを行うことから、当機構と連携しながら集積・集約を推進する。 ・より効果の上がる事業となるよう、検証に基づいた活動方法の見直しを実施する。
	○維持・改善	・「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。 ・農地の中間的な受け皿となる農地中間管理事業を積極的に活用し、集積・集約化を推進する。 ・各組織の実施事業や運営状況を精査し、事業効果を検証する必要がある。
次年度の実施方針	○維持・改善	拡大 縮小 廃止検討
二次評価	○維持・改善	拡大 縮小 廃止検討
		(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	19,817	17,274	22,190	23,549
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4,418	3,851	4,947	5,249
	受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成(Action2)

事業内容	・農業経営体等に対する経営相談、指導活動による育成、強化 ・地域農業組織強化のための営農推進協議会の活動支援 ・生産性の高い営農経営確立のための活動に対する助成	要求のポイント	・高山営農推進協議会の活動支援による各地域における課題解決の推進 ・経営所得安定対策事業及び農地集積事業の推進	事業実施の課題	・各地域での実施事業や運営状況の把握 ・担い手の確保・育成と地域農業組織の強化に向けた支援手法の検討 ・農地利用集積の促進
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		22,190	23,549	1,359	24,330	24,330	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	11,700	13,040	1,340	13,700	13,700		
	その他		153	153	100	100		
	一般財源	10,490	10,356	△134	10,530	10,530		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51305 農政	農業体験施設等管理事業費	会計	1 一般会計	基本目標	1 魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約
			款	5 農林水産業費	基本分野	1 産業・労働	実施計画事業	農業体験施設等管理事業	
担当課	農政部 農務課	内線	項	1 農業費	分野	1 観光	H28実施計画額	28,000 千円	
		2225	目	3 農業振興費	施策概要	2 滞在型・通年型の観光地づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	・都市と農村との交流増加による地域の活性化 ・農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成 ・生産、収穫などの農業体験を通して、家族とのふれあいや地域の農業、農産物に対する理解を深める ・生きがいをもたら、健康的でゆとりある生活の実現を図る	概要	事業の実施手法(手段)	施設を活用し、農業体験、自然体験の場を提供する(奥野良野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞り型農園施設、清見里小学校、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館) ・市民ふれあいファミリー農園を提供する(塩屋、下切) ・各農園に指導者を設置するほか、施設の維持管理を行う
	対象者数	90,938 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	【農業振興施設】・6施設の利用者数 9,527人 【市民ふれあいファミリー農園】・塩屋農園は60区画中50区画、下切農園は全40区画全区画の貸出						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	施設利用者数	人	目標値	8,100	8,100	8,100	8,100
			実績(見込)	9,483	9,527	9,335	
	算出根拠等	指定管理者報告書	達成率(%)	117	118	115	
活動指標	荒城農業小学校参加児童数	人	目標値	80	80	80	80
			実績(見込)	81	65	75	
	算出根拠等	指定管理者報告書	達成率(%)	101	81	94	
成果指標	「満足」「やや満足」と回答した施設利用者の割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績(見込)	73	69	80	
	算出根拠等	利用者アンケート調査	達成率(%)	73	69	80	
成果指標	荒城農業小学校を楽しんでいた」と回答した参加者の割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績(見込)	83	68	73	
	算出根拠等	参加者アンケート調査	達成率(%)	83	68	73	
成果指標	農園利用区画数	区画	目標値	100	100	100	100
			実績(見込)	96	94	89	
	算出根拠等	塩屋農園 60区画、下切農園 40区画	達成率(%)	96	94	89	
補足			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地元団体による安定運営をめざし、利用者が増加する取り組みをすすめながら、地元団体への譲渡を検討する必要がある。 ・譲渡にあたっては、補助金適正化法による制限に留意する必要がある。 ・農園の空き区画数が増加傾向にあるため、利用者の新たな掘り起こしについて工夫していく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・指定管理者から提出された事業報告書をもとに、6月に評価を実施。 ・施設の適正な維持管理を行うとともに、広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒体により利用者を広く募集する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化をめざす。 ・地元団体への譲渡について、補助金適正化法による制限などを調査し、検討する。 ・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。 ・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒体により利用者を広く募集する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
○ 維持・改善		
拡大		
縮小		
○ 維持・改善		
拡大		
縮小		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	26,881	26,125	28,640
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,835	2,742	3,068
	受益者	施設利用者	(B)	9,483	9,527	9,335

5 予算編成(Action2)

事業内容	・指定管理施設の適切な管理 (奥野良野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞り型農園施設、清見里小学校、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館) ・直営施設の適切な管理 (塩屋・下切市民ふれあいファミリー農園、新規就農者研修施設)	要求のポイント	・施設のより一層の利用促進	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴う修繕費の増 ・新たな利用者の掘り起こし
------	--	---------	---------------	---------	----------------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	28,640	27,907	△ 733	26,540	26,540	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	2,267	2,259	△ 8	2,259	2,259		
一般財源	26,373	25,648	△ 725	24,281	24,281		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51310	農作物獣害防止対策事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	高山市鳥獣被害防止計画		市長公約	基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	項			5	農林水産業費	基本分野		1	産業・労働		実施計画事業	農作物獣害防止対策事業		
担当課	農政部 農務課		内線	目	3	農業振興費	施策概要	4	農山村集落機能の維持・強化	H28実施計画額	152,000 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業者及び市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を図ることにより、農業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。 野生鳥獣による生活環境または農林水産業等に係る被害の防止及び軽減を図る。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策の推進(研修会の開催促進、鳥獣侵入防止柵等の設置支援) 猟友会を中心に編成された有害鳥獣捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を委託し、安全かつ適正な捕獲を実施する。 農家等の狩猟免許取得を促進し、捕獲技術者の確保・育成を図る。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 侵入防止柵(国庫事業) 実施箇所数:13箇所、実施面積:225ha 侵入防止柵(市単事業) 実施箇所数:38箇所、実施面積:267ha 有害鳥獣捕獲隊員数 303名(免許所持者:166名、補助者:137名)、捕獲技術者育成 第1種銃猟:7名、わな猟:6名 捕獲数量 有害捕獲 イノシシ:1557頭、サル:190頭、シカ:394頭、カラス:36羽、狩猟捕獲 イノシシ:212頭、シカ:77頭 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	被害防止施設整備面積	ha	目標値	143	143	405	405
			実績(見込)	371	492	248	
成果指標	鳥獣被害面積	ha	目標値	98	83	67	59
			実績(見込)	57	55	55	
活動指標	有害鳥獣捕獲数量(対象鳥獣)	頭・羽	目標値	2,020	2,020	2,640	2,640
			実績(見込)	1,437	2,177	1,000	
成果指標	捕獲従事者数(狩猟免許所持者)	人	目標値	165	170	175	190
			実績(見込)	158	166	170	
補足	算出根拠等	目標値					
		実績(見込)					
算出根拠等	達成率(%)						
	目標値						
算出根拠等	実績(見込)						
	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみで実施するソフト事業(研修会、被害調査、合意形成等)の強化 低コストの侵入防止柵、災害(豪雨、豪雪等)に強い侵入防止柵の研究 捕獲技術後継者(特に猟銃所持者)の育成が急務
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 県専門指導員(H27新規)との連携し、研修会や学習会の開催などソフト事業を強化 効率的(くくりわな併用)かつ精度の高い捕獲(幼獣捕獲の抑制)など、捕獲技術の高度化の推進 地域ぐるみの防除・捕獲体制の強化 	
次年度の 実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 地域主体の研修会・学習会の開催促進や鳥獣侵入防止柵等の設置支援、鳥獣の個体数管理の設定等による地域ぐるみの総合的な被害防止対策の強化 県の嘱託職員(鳥獣被害対策指導専門員)の有効活用による被害軽減の推進
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみでの取り組みをすすめるとともに、事業効果の検証を行う必要がある。 駆除鳥獣肉の活用を促進する必要がある。 新射撃場の建設計画を早期にまとめる必要がある。 	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	112,448	123,123	152,460	145,918
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,237	1,354	33,986	32,527
	受益者	農業者及び市民	(B)	90,938	90,938	4,486	4,486

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害の軽減・防止 有害鳥獣の捕獲 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域、集落ぐるみの取り組み推進 有害捕獲の強化と捕獲技術者の育成 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 被害防止対策未実施地域での合意形成の推進、普及・啓発の推進と、捕獲と一体的に実施できる地域づくりの推進 捕獲技術者の育成、特に猟銃による有害捕獲従事者の育成・確保が必要
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		152,460	145,918	△ 6,542	156,660	156,660	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 ニホンジカ個体数調整に要する経費を計上 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	57,794	54,595	△ 3,199	68,278	68,278		
	その他			0				
	一般財源	94,666	91,323	△ 3,343	88,382	88,382		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51315 農業者 農業者	農業制度資金等利子補給事業費	予算	会計	1 一般会計	基本目標	1 魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	産業振興計画	市長公約
				款	5 農林水産業費	基本分野	1 産業・労働	実施計画事業	農業制度資金等利子補給事業	
担当課	農政部 農務課	内線	2225	項	1 農業費	分野	5 農業	H28実施計画額	2,600 千円	
				目	3 農業振興費	施策概要	5 担い手の育成・確保			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 農業者	どうしたいのか(意図)	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改善を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・農業経営基盤強化資金などの借入資金にかかる利子を補給(助成)する
	対象者数	4,486 戸				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・利子補給件数 144件 ・利子補給金額 4,437千円 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	農業制度資金相談窓口の開催回数	回	目標値	20	20	20	20
			実績(見込)	24	24	24	
活動指標	算出根拠等		達成率(%)	120	120	120	
			目標値	30	30	30	30
活動指標	高山市ワンストップ支援窓口での相談件数	件	実績(見込)	51	61	60	
			達成率(%)	170	203	200	
成果指標	利子補給件数	件	目標値	300	300	160	110
			実績(見込)	164	144	140	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	55	48	88	
			目標値	5,890	4,854	3,800	2,451
成果指標	利子補給金額	千円	実績(見込)	5,359	4,436	3,580	
			達成率(%)	91	91	94	
成果指標	新規借入申込件数	件	目標値	13	13	13	13
			実績(見込)	23	24	23	
補足	算出根拠等		達成率(%)	177	185	177	
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・利子補給制度の周知を図る必要がある。
-----------------	---------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・認定農業者向け支援制度概要パンフレットに利子補給制度を掲載・配布し、制度の周知を図る。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。 ・緊急景気対策としての利子補給は、景気の動向等を踏まえて事業の必要性について検討する。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○ 維持・改善	
	拡大	
○ 縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,359	4,436	3,800	2,451
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,195	989	847	546
	受益者 H22 農業センサス農家戸数	(B) 4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成(Action2)

事業内容	・利子補給による農業経営の改善等支援	要求のポイント	・農業経営基盤強化資金の利子補給支援	事業実施の課題	・農畜産物価格の低迷
------	--------------------	---------	--------------------	---------	------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,800	2,451	△ 1,349	2,451	2,451	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	1,745	1,202	△ 543	1,202	1,202		
一般財源	2,055	1,249	△ 806	1,249	1,249		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51320	新規就農者等育成支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 農務課			内線	2224	款		5	農林水産業費			
				項	1	農業費	分野	5	農業	H28実施計画額	70,000 千円	
				目	3	農業振興費	施策概要	5	担い手の育成・確保			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 新規就農者、農業後継者等	どうしたいのか(意図)	次代を担う農業後継者等の定着・育成を図る	概要	事業の実施手法(手段)	就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施(指導農家への謝礼) ・新規就農者が農地を賃貸借した際の賃借料に対する助成 ・農業後継者団体等に対する助成及び農業後継者における海外研修に係る経費に対する助成 ・経営リスクを負っている認定新規就農者(新規就農者及び農業後継者)の経営が安定するために給付金を給付
	対象者数	250 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就農希望者の実践的就農研修の実施 ・新規就農者への農地賃借料に対する助成 ・4Hクラブ、JAひだ青年部、指導農家士会、フレッシュミズの会の活動に対する助成 ・青年就農給付金の給付による新規就農者への支援 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	新規就農研修生受入れ人数	人	目標値	10	10	10	10
				実績(見込)	7	8	9	
	算出根拠等			達成率(%)	70	80	90	
	活動指標	新規就農相談件数	人	目標値	60	60	60	60
				実績(見込)	56	61	60	
	算出根拠等			達成率(%)	93	102	100	
	成果指標	新規就農研修生の就農人数	人	目標値	6	6	6	6
				実績(見込)	5	10	9	
	算出根拠等		高山市農山村地域活性化計画	達成率(%)	83	167	150	
	成果指標	新規就農者数	人	目標値	23	25	30	30
				実績(見込)	27	38	15	
算出根拠等		高山市農山村地域活性化計画	達成率(%)	117	152	50		
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・就農希望者が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金制度等の支援事業や支援体制(就農移住ネットワーク会議)、実践的研修情報等を積極的に発信し、新規就農者の確保及び農業への定着を図る。 ・農業後継者等の就農時への支援事業を新設し、より安定的な経営体へと発展し、農業への定着を図る。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金等の支援事業を積極的に活用し、また、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信する。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者につながる支援を行い、地域農業の担い手の確保を図る必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	41,453	67,820	37,400	74,500
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	189,283	301,422	164,035	296,813
	受益者	農業後継者、新規就農者、農業研修生等	(B)	219	225	228	251

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就農希望者等の農業への定着を図るため、農業研修から就農時までを一貫して支援 ・移住就農者を確保するため、農業研修期間中の生活を支援 ・地域農業の活性化を図るため、農業後継者団体等の活動及び研修を支援 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者等がより安定的な経営体へと発展し、農業への定着を図るために必要な経費等を計上 ・地域農業の活性化を図るために必要な農業後継者団体等の活動及び研修に必要な経費等を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者等がより確実に農業へ定着するために必要となる施策の検討 ・就農移住を促進するために必要な施策の検討
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		37,400	74,500	37,100	75,580	75,580	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・就農体験に要する経費を計上 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	0	10,000	10,000				
	県支出金	32,000	60,300	28,300	60,300	60,300		
	その他	1,003	1,003	0	1,003	1,003		
	一般財源	4,397	3,197	△ 1,200	14,277	14,277		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51325	地域特産物振興助成事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。	
	款			5	農林水産業費	基本分野		1	産業・労働				
担当課	農政部 農務課	内線	2223	項	1	農業費	分野	5	農業	実施計画事業	地域特産物振興助成事業	H28実施計画額	3,000 千円
				目	3	農業振興費	施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域特産物生産者組織	どうしたいのか (意図)	地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の掘り起こしを行い、それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高品質化、新商品開発等を促進し、地域の活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	各段階に応じた下記の取組みに要する経費に対し補助金を交付。 【ステップ1 発掘】地域の特色を活かして取り組もうとする新たな農産物の選定、栽培技術の確立及び生産販売体系の構築等 【ステップ2 育成】地域の特色を活かした農産物の生産拡大や高品質化 【ステップ3 振興】地域の特色を活かした農産物を利用した新商品開発や販売促進活動
	対象者数	10 団体					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・地域特産物振興事業補助金により、地域農産物の生産拡大、高品質化、商品開発、販売振興を促進した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	事業採択組織数	団体	目標値	10	10	10	10
		実績(見込)	8	4	4			
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	80	40	40	
		地域特産物の発掘取組み品目数 (ステップ1)	品目	目標値	2	2	2	2
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)	0	0	0	
		達成率(%)		0	0	0		
	成果指標	地域特産物の生産拡大品目数 (ステップ2)	品目	目標値	2	2	2	2
		算出根拠等		実績(見込)	3	3	3	
	成果指標	達成率(%)		150	150	150		
		地域特産物加工品等商品化件数 (ステップ3)	件	目標値	2	2	2	2
	補足	算出根拠等		実績(見込)	3	2	1	
達成率(%)			150	100	50			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域の特産物発掘がその後の販路拡大に繋がるよう、商工観光分野と連携した取り組みを促進する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・段階的なステップアップを意識した取り組みとなるよう、申請時にヒアリングを行う。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・事業効果の検証を行うとともに、安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりにつなげていく必要がある。 ・農産物の生産のみにとどまらず、商工観光分野と連携した加工品の開発も促進する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究・獣害防止等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,884	1,260	3,000	2,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	235,500	315,000	500,000	500,000
	受益者 生産者組織(団体)	(B)	8	4	6	5

5 予算編成(Action2)

事業内容	農業者が行う地域特産物の発掘、生産拡大、高品質化、新商品開発等の取り組みに対する支援	要求のポイント	地域の特色ある産地産品づくりの推進	事業実施の課題	制度の周知及び事業効果の検証
------	--	---------	-------------------	---------	----------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,000	2,500	△ 500	3,000	3,000	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	3,000	2,500	△ 500	3,000	3,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51335	農業施設等整備費助成事業費	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 農務課		款	5	農林水産業費		基本分野	1			
予算	内線		項	1	農業費	分野	5	農業	H28実施計画額	56,000 千円	
	2224		目	3	農業振興費	施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業者(農業者の組織する団体等、新規就農者及び認定農業者等地域の担い手)	どうしたいのか(意図)	・化学合成農薬や化学肥料の使用削減を図るぎふクリーン農業を基本に、品質向上や生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する ・新規就農者、意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的な発展に資する	概要	事業の実施手法(手段)	安全・安心・健康でブランド力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成 ・意欲ある多様な経営体から自ら計画する経営改善目標の達成に向け必要な農業用機械、施設等に直接支援することにより、農業経営体の経営の拡大や改善を図る
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・雨よけハウス、防虫ネット、冷凍庫、自動包装機、高所作業車等の機械施設整備補助 ・認定農業者への機械施設等への補助 16経営体							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	飛騨高山トマト選果場利用者数	人	目標値	130	130	130	130
				実績(見込)	114	124	125	
	成果指標	算出根拠等 トマト選果場整備 事業実施計画書	百万円	達成率(%)	88	95	96	
				目標値	6,750	6,750	6,750	6,750
	成果指標	重点品目(トマト、ホウレンソウ)の販売額	百万円	実績(見込)	7,199	6,526	7,200	
				達成率(%)	107	97	107	
	成果指標	算出根拠等 高山市産業振興計画	ha	目標値	1,035	1,035	1,035	1,035
				実績(見込)	986	976	980	
	活動指標	ぎふクリーン農業計画面積(トマト、ホウレンソウ)	経営体	達成率(%)	95	94	95	
				目標値	15	15	15	15
	活動指標	事業導入経営体数	経営体	実績(見込)	3	16	4	
達成率(%)				20	107	27		
成果指標	算出根拠等	人	目標値	23	25	30	30	
			実績(見込)	27	38	30		
成果指標	算出根拠等 高山市産業振興計画	人	達成率(%)	117	152	100		
			目標値					
補足	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業を推進する際に、作目により採択要件が満たされず、要望に応えられない事例が発生している。 事業の早期着工について、引き続き事業実施主体、県等と連携し速やかな事業実施を推進していく必要がある。 成果目標と事業費比率のポイント制で採択が争われるため、事業採択のためには高い成果目標の設定と事業費の低減が必要であることを農業者に理解を求めなければならない。 新規就農者の中でも後継者への支援を望む意見が多くあり、これらに対する支援も検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。 事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。 市のホームページ等で事業内容のPRや要望量の把握し、新規就農支援者相談や各種会議・会合等で事業推進に努める。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 農業産地としての維持拡大のために、生産者団体と協議し、効果的な農業施設等の整備を推進する。 対象者に対して事業を広くPRするとともに、事業取組者には成果目標の達成状況等の指導を行う。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 効果を検証しながら、事業内容を精査する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	50,510	48,266	56,300	59,113
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	11,259	10,759	12,550	13,177
	受益者	H27 農業センサス農家戸数	(B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 安全、安心、健康な農産物の安定供給を図るための機械・施設整備に対する助成 入・農地プランに位置付けられた中心経営体の育成・確保のため、必要な農業用機械・施設等への支援 融資の円滑化等を図るため、金融機関への債務保証(経営体の信用保証)の拡大を支援 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ぎふクリーン農業を基本とした機械・施設等の導入を支援することによる安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりの推進 農業用機械・施設等の導入経費に対する助成 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 収益力の向上に向けた早期かつ計画的な機械・施設整備の促進 採択を受けるための成果目標等確保
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	56,300	59,113	2,813	58,100	58,100	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	36,300	40,255	3,955	38,100	38,100		
	その他			0				
	一般財源	20,000	18,858	△ 1,142	20,000	20,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51336 集出荷施設等整備費助成事業費	予算	会計	1 一般会計	基本目標	1 魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約 ・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5 農林水産業費	基本分野	1 産業・労働	実施計画事業	集出荷施設等整備費助成事業	
担当課	農政部 農務課	内線	項	1 農業費	分野	5 農業	H28実施計画額	- 千円	
		2224	目	3 農業振興費	施策概要	2 ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業者(農業者の組織する団体等、新規就農者及び認定農業者等地域の担い手)	どうしたいのか(意図)	・化学合成農薬や化学肥料の使用削減を図るぎふクリーン農業を基本に、品質向上や生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する	概要	事業の実施手法(手段)	・安全・安心・健康でブランド力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
成果面	活動指標	丹生川トマト選果場利用者数	人	目標値			124	126	
				実績(見込)			124		
	成果指標	算出根拠等 トマト選果場整備 事業実施計画書		達成率(%)				100	
		重点品目(トマト、ホウレンソウ)の販売額	百万円	目標値	6,750	6,750	6,750	6,750	
			実績(見込)	7,199	6,526	7,200			
	成果指標	算出根拠等 高山市産業振興計画		達成率(%)	107	97	107		
				目標値					
	活動指標	算出根拠等		実績(見込)					
				達成率(%)					
	成果指標	算出根拠等		目標値					
				実績(見込)					
	補足	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値						
			実績(見込)						
			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	維持・改善		拡大		縮小		廃止検討	二次評価	維持・改善		拡大		縮小		廃止検討
担当課評価	維持・改善																
	拡大																
	縮小																
	廃止検討																
二次評価	維持・改善																
	拡大																
	縮小																
	廃止検討																

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A)			
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			
	受益者 H22 農業センサス農家戸数	(B)			

5 予算編成(Action2)

事業内容	安全、安心、健康な農産物の安定供給を図るための機械・施設整備に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題
------	--------------------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			0	712,800	712,800	トマト集出荷施設整備費の助成に対する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳			0				
国庫支出金			0				
県支出金			0	648,000	648,000		
一般財源			0	64,800	64,800		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51340	地産地消推進事業費	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	高山市地産地消推進計画	市長公約	・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
			款	5	農林水産業費		基本分野	1	産業・労働	実施計画事業	地産地消推進事業		
担当課	高山市 農政部	内線	項	1	農業費		分野	5	農業	H28実施計画額	3,000 千円		
		2223	目	3	農業振興費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	・地域で生産されたものが、地域で消費しやすくなる ・生産者の顔が見え、新鮮で安全・安心な農畜産物が供給される ・地域の農業と関連産業の活性化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・地産地消取組事業者の情報発信や消費者と生産者の連携を強化し地産地消を推進する ・市内の小中学校等大量調理施設において地域農産物の利用促進を行う
	対象者数	90,938 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進会議を開催し、推進事業等について協議 ・各種事業の実施(飛驒の食材で料理教室の開催、飛驒をまるごと食べべくな月間における啓発事業、講演会及びビジネスマッチングの開催による交流促進、手作り弁当の募集及び展示、フェイスブックを活用した情報発信) ・学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	学校給食における地元農産物利用量(県補助事業対象分)	t	目標値	160	160	160	160
				実績(見込)	165	166	146	
	算出根拠等			達成率(%)	103	104	91	
	活動指標	地産地消推進会議開催回数	回	目標値	4	4	4	4
				実績(見込)	4	4	4	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	公設卸売市場取扱量に占める飛驒産食材の比率	%	目標値	12	13	13	13
				実績(見込)	11	11	11	
	算出根拠等			達成率(%)	92	85	85	
	成果指標	学校給食使用食材に占める飛驒産食材の比率	%	目標値	66	67	67	67
				実績(見込)	64	64	64	
算出根拠等			達成率(%)	97	96	96		
成果指標	地産地消の取組みを発信する店舗・団体の数	件	目標値	350	400	400	400	
			実績(見込)	186	232	249		
算出根拠等			達成率(%)	53	58	62		
活動指標	主要な直販所の年間販売額(13直売所)	千円	目標値	485,000	490,000	590,000	600,000	
			実績(見込)	581,969	602,971	590,000		
算出根拠等			達成率(%)	120	123	100		
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市民の地域農産物等の認知度向上と利用促進に向けた取組を強化する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・これまでの事業の反省点や改善点を踏まえ、より効果的な事業となるよう検証していく必要がある。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取組を、地産地消推進会議と連携し、さらに強化する必要がある。 ・地産地消が着実に推進できるよう推進計画の進捗評価を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	2,177	2,022	3,500	4,650
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	24	22	38	51
	受益者	全市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地産地消推進計画に基づく地元農産物の消費拡大を図るための地産地消のPR ・学校給食での地元農産物の利用促進	要求のポイント	市民参画による地産地消の推進や学校給食における地元農産物の利用促進	事業実施の課題	幅広い関係者(生産者、事業者、消費者等)の連携による市民や観光客に魅力ある地産地消の創出
------	---	---------	-----------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	3,500	4,650	1,150	3,000	3,000	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	1,000	800	△200	1,000	1,000		
	その他			0				
一般財源	2,500	3,850	1,350	2,000	2,000			

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51350	環境保全型農業推進事業費	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約	基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。 ・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
			款	5	農林水産業費		基本分野	1		産業・労働		
担当課		内線	項	1	農業費	分野	5	農業	H28実施計画額	2,200 千円		
	農政部 農務課	2225	目	3	農業振興費	施策概要	1	活気ある農業生産地づくり				
			予算			総合計画						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 農業者(農業者団体等)	どうしたいのか(意図)	・廃ビニールの適正処理、農業の安全使用の徹底など地域環境の保全を図る ・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援し、環境保全型農業を推進する	概要	事業の実施手法(手段)	・廃ビニールの適正処理を支援する。 ・環境保全型農業に取り組む農業者に対して支援する。
	対象者数	4,486 戸				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。 国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	廃ビニールの回収作業	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
				算出根拠等	年1回(12月頃)			
	成果指標	廃ビニール用フレコンバッグの回収量	袋	目標値	1,000	1,000	1,000	700
				実績(見込)	582	528	550	
				算出根拠等	実績報告書			
	成果指標	環境保全型農業直接支払交付金の交付対象面積	a	目標値	1,500	1,500	1,500	2,500
				実績(見込)	856	784	925	
				算出根拠等	交付決定通知書等			
	補足	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・本事業について、関係機関と連携し事業の周知を図る必要がある。
-----------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・関係機関と情報共有を行い、事業の周知を図り受益者の掘り起こしを目指す。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	
	拡大	・環境に配慮した営農活動を推進する。
	縮小	・環境保全型農業に取り組む農業者の事例をPRし、さらなる推進を図る。
	廃止検討	
	○ 維持・改善	
	拡大	・効果を検証しながら、事業内容を精査する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	924	842	2,200	2,459
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	206	188	490	548
	受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成(Action2)

事業内容	・廃ビニールの適正処理、農業の安全使用の徹底など、地域環境の保全を図るための活動を支援 ・有機農業など地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援	要求のポイント	・環境保全型の営農活動の促進	事業実施の課題	・本市の農業や地勢にあった環境保全に効果の高い取組みの検討
------	---	---------	----------------	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	2,200	2,459	259	2,500	2,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	900	1,320	420	1,350	1,350		
	その他			0				
	一般財源	1,300	1,139	△161	1,150	1,150		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51355 中山間地域等直接支払事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	1 魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約	基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
		款	5 農林水産業費		基本分野	1 産業・労働	実施計画事業	中山間地域等直接支払事業		
担当課	農政部 農務課	項	1 農業費		分野	5 農業	H28実施計画額	183,000 千円		
	内線 2229	目	3 農業振興費		施策概要	4 農山村集落機能の維持・強化				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 農業者等(協定集落)	どうしたいのか(意図)	耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する	概要	事業の実施手法(手段)	中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して支援する
	対象者数	2,333 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	協定を締結している集落に対し交付金を交付						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	協定締結集落数	集落	目標値	96	96	96	92
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	96	94	92	
	事業参加面積	ha	達成率(%)	100	98	96	
成果面	算出根拠等		目標値	1,325	1,324	1,324	1,275
	算出根拠等		実績(見込)	1,314	1,313	1,275	
補足	算出根拠等		達成率(%)	99	99	96	
	算出根拠等		目標値				
算出根拠等	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
算出根拠等	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
算出根拠等	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
算出根拠等	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	当該事業の採択条件に「5年以上農業を続けること」という条件があるため、農業の継続を検討している農業者が参加しない場合がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> H27年度から法制度となり、日本型直接支払制度として農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援することとなった。 協定に基づき5年以上継続して耕作を行う農業者を対象とする。 事業内容について対象者に説明し、より多くの農用地を事業対象農用地とする。 																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>次年度評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">新規に取り組みを希望する集落の掘り起しを行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	次年度評価	○ 維持・改善	新規に取り組みを希望する集落の掘り起しを行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
次年度評価	○ 維持・改善	新規に取り組みを希望する集落の掘り起しを行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。																
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 181,066	181,065	182,900	174,849
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 70,208	70,289	70,919	74,946
	受益者 農業者等(協定集落)	(B) 2,579	2,576	2,579	2,333

5 予算編成(Action2)

事業内容	耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する。中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して交付金を交付する。	要求のポイント	・条件不利地での営農活動の維持、農地の多面的機能の確保	事業実施の課題	当該事業の採択条件に「5年以上農業を続けること」という条件があるため、農業の継続を検討している農業者が参加しない場合がある。
------	--	---------	-----------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	182,900	174,849	△ 8,051	175,300	175,300	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	136,660	130,750	△ 5,910	131,100	131,100		
一般財源	46,240	44,099	△ 2,141	44,200	44,200		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	51360 農政	耕作放棄地対策事業費	予算	会計	1 一般会計	基本目標	1 魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約	基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
				款	5 農林水産業費	基本分野	1 産業・労働	実施計画事業	耕作放棄地対策事業		
担当課		農政部 農務課	内線	項	1 農業費	分野	5 農業	H28実施計画額		10,000 千円	
			2227	目	3 農業振興費	施策概要	1 活気ある農業生産地づくり				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	・耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地が洪水防止などの多面的機能を発揮し、農村環境や自然環境を維持する。また、地域の団体や企業などが耕作放棄地の解消に取り組むことで、地域振興の契機とする。 ・耕作放棄地の解消を促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・耕作放棄地を解消しようとする団体、個人に対して、農地を再生するための活動に対して支援する。
	対象者数	90,938 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・高山地域で 2団体 0.7haについて再生事業を実施、露地野菜などを作付した。							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	遊休地、耕作放棄地所有者に指導通知	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	0	0	1	
	算出根拠等			達成率(%)	0	0	100	
	活動指標	耕作放棄地調査	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	耕作放棄地解消面積【再生利用事業を活用】	ha	目標値	6	6	6	6
				実績(見込)	3	1	1	
	算出根拠等			達成率(%)	52	12	15	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・事業費ベースで、H24 44%、H25 49%、H26 12%と伸び悩んでいることから、事業推進のためのPRが必要である。 ・中山間地域等直接支払などの活用により農地保全、及び農地所有者への意識改革(農地有効利用)などを行う必要がある。 ・耕作放棄地全体調査結果 H20:174ha、⇒H26:111haとなっている。実質解消面積は94haであるが新規の発生面積は17haである。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・農業委員や改良組合長を通じ積極的に支援制度の活用をPRし、実践に結び付ける。 ・8月～11月の農地パトロールを踏まえ、耕作放棄地所有者に意向調査を行い、農地の貸し借りを促進させる。 ・「人・農地プラン」の話し合いの場で解消事例などを提示し、地域全体の課題として認識してもらい解消取り組みを促進させる。
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	4,903	1,183	10,000	5,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	53	13	110	55
	受益者	全市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・荒廃農地及び荒廃の恐れのある農地の再生に対する支援	要求のポイント	・荒廃農地を再生・営農開始する団体、企業、個人への支援をすることによる荒廃農地解消の推進	事業実施の課題	・高齢化や担い手不足・条件の悪い山すそ等荒廃農地の増加、相続による農地の分散化や遊休農地化 ・国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の有効活用
------	----------------------------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	5,000	△ 5,000	10,000	10,000	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,000	5,000	△ 5,000	10,000	10,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	54100	農業土木施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課				款	5	農林水産業費		基本分野	1			
		内線		項	4	農業土木費	分野	5	農業	H28実施計画額	39,200 千円	
		2229		目	1	農業土木総務費	施策概要	1	活気ある農業生産地づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 農業者(農業者団体等)	どうしたいのか(意図)	・用排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良 ・豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の安全を確保し、生活施設、農業生産施設、農作業等の被害を防止する。	概要	事業の実施手法(手段)	・用排水路等の農業用施設の修繕 ・改修整備及び防災ダムの保守点検
	対象者数	4,486 戸				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・町内要望、情報連絡箇所を中心に、用排水路等の農業用施設の修繕、改修整備を実施 ・維持管理事務実施における諸費用の支払い ・防災ダムの施設点検							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	原材料支給件数	件数	目標値	50	50	50	50
				実績(見込)	41	73	47	
	算出根拠等			達成率(%)	82	146	94	
	成果指標	用排水路等の修繕の要望件数に対する実施箇所	箇所	目標値	200	170	170	170
				実績(見込)	157	86	82	
	算出根拠等			達成率(%)	79	51	48	
	活動指標	かんがい施設管理者、道路賠償責任保険の加入	円	目標値	48	48	48	48
				実績(見込)	46	48	48	
	算出根拠等			達成率(%)	96	100	100	
	成果指標	水門管理、花壇手入れの謝礼	円	目標値	410	410	790	790
				実績(見込)	405	405	790	
算出根拠等			達成率(%)	99	99	100		
活動指標	防災ダム点検回数	回	目標値	20	20	20	20	
			実績(見込)	23	20	20		
算出根拠等			達成率(%)	115	100	100		
活動指標	施設管理等処理数	件	目標値	10	10	10	10	
			実績(見込)	10	10	10		
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市内の用排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数を経過した施設が多く、農業用施設の修繕等に係るニーズは高く、毎年度、多くの要望が寄せられている。しかし、用水路については地元負担金の関係もあり全ての要望に対応することは困難である。 ・防災ダムの電気設備等の定期点検及び耐用年数が過ぎている施設の更新が未実施であるため、維持管理における不安材料となっており施設を適正な状態に保つためにも早期の対応が必要である。 ・26年12月の倒木により、宮川防災ダムの電気、通信ケーブルに被害があった。今後、豪雨時の映像データが対応に重要であることから、より一層施設の監視が重要と認識された
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との調整を随時行う。 ・通常時の河川流量を確保するため、防災ダム沈砂池の土砂撤去を実施する。 ・防災ダムのデータ管理等に必要な設備の修繕を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整が必要である。 ・ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・農村環境多面的機能向上事業を活用しつつ実施する必要がある。 ・ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	147,315	36,856	39,202	70,778
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	32,839	8,216	8,739	15,778
	受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成(Action2)

事業内容	・農業用排水路、農道などの維持管理 ・宮川防災ダム及びびく野防災ダム施設の維持管理	要求のポイント	・農地・農業用施設の改修等による施設の機能保全や長寿命化 ・施設の適正な維持管理による豪雨災害の防止	事業実施の課題	・整備箇所の調整 ・市内の用排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数である40年以上を経過する施設が多く、投資コストとライフコストの見極めが課題 ・市民の安全を確保するため、設備等の定期点検や施設及び機器の更新が必要である
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		39,202	70,778	31,576	55,116	55,116	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	30		△ 30	30	30		
	その他	4,397	3,666	△ 731	4,191	4,191		
	一般財源	34,775	67,112	32,337	50,895	50,895		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	54200	県営土地改良事業負担金	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課				内線	2229	款		5	農林水産業費			
				項	4	農業土木費	分野	5	農業	H28実施計画額		
				目	2	土地改良費	施策概要	1	活気ある農業生産地づくり			118,100 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 事業対象地区受益者	どうしたいのか(意図)	・農業生産基盤である農地と野菜集出荷施設、カントリーエレベーター等の近代化施設とを結び移動時間の短縮を図る。 ・農業基盤である農地農道・用排水路等の整備を行い、農業経済の安定化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・県が事業主体となって農地・農道・用排水路等の整備を行う
	対象者数	2,742 戸				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・事業実施に対する負担金の支払い ・事業実施に対する地元分担金の徴収 小水力発電施設整備事業(荘川中央用水)の実施設計						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	広域農道整備事業の整備延長(換算延長)	m	目標値	321	383	383	631
			実績(見込)	282	316	274	
成果指標	算出根拠等 整備実施延長/整備予定延長		達成率(%)	88	83	72	
			目標値	1,513	2,855	1,252	3,195
成果指標	中山間地域整備事業の整備延長	m	実績(見込)	1,174	2,301	737	
			達成率(%)	78	81	59	
成果指標	算出根拠等 整備実施延長/整備予定延長		目標値		9	80	1
			実績(見込)		4	1	
成果指標	小水力発電施設整備事業の整備率	%	達成率(%)		44	1	
			目標値			625	298
活動指標	かんがい排水整備事業の整備延長	m	実績(見込)			625	
			達成率(%)			100	
活動指標	算出根拠等 整備実施延長/整備予定延長		目標値				
			実績(見込)				
活動指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
活動指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・事業自体が、国、県の財政事情や予算配分に大きく左右され事業期間が延伸しており、事業効果があがり上がっていない現状である。 ・中山間地域における農業用施設等の総合的な整備を行う事業であるためニーズが高く、計画的な事業を推進していく必要がある。 ・小水力発電の機器の需要が高まり、当初145,000千円の事業費から201,500千円と高騰している。また、事業の費用便益比(B/C)が1を確保できるかが課題となっている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・県との調整を密接に行い、事業費の把握に努めると共に市と地元負担額の確保を図る ・小水力発電施設における概算収支による事業の検討。												
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">引き続き県と調整を行い事業推進を図る ・小水力発電施設における用水管理が適切に実施されるよう事業費と売電収入の長期的な収支を今後も検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○ 維持・改善	引き続き県と調整を行い事業推進を図る ・小水力発電施設における用水管理が適切に実施されるよう事業費と売電収入の長期的な収支を今後も検討する必要がある。	拡大	縮小	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	拡大	縮小	廃止検討		廃止検討	
○ 維持・改善	引き続き県と調整を行い事業推進を図る ・小水力発電施設における用水管理が適切に実施されるよう事業費と売電収入の長期的な収支を今後も検討する必要がある。												
拡大													
縮小													
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)												
拡大													
縮小													
廃止検討													
廃止検討													

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 28,893	42,029	71,750	97,933
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 10,537	15,328	26,167	35,716
	受益者	(B) 2,742	2,742	2,742	2,742

5 予算編成(Action2)

事業内容	・県が行う広域農道、小水力発電施設、用排水路、農道、集落道、かんがい排水の整備にかかる負担金	要求のポイント	・県の事業計画に基づく事業費負担	事業実施の課題	・総事業費の維持を基本とした県との事業調整が必要である
------	--	---------	------------------	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	71,750	97,933	26,183	95,310	95,310	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	11,075	29,367	18,292	27,200	27,200		
一般財源	60,675	68,566	7,891	68,110	68,110		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	54210	土地改良事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 農務課			内線	2229	款		5	農林水産業費			
				項	4	農業土木費	分野	5	農業	H28実施計画額	18,300	千円
				目	2	土地改良費	施策概要	1	活気ある農業生産づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	土地改良組合、土地改良区	どうしたいのか(意図)	・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を補助することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。 ・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・土地改良事業を実施した地区において、その施設の長寿命化等を図る取り組みに対して支援する ・土地改良事業に係る負担金の補助(高根地域)
	対象者数	146 組合					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮川防災ダム部分整備補修の実施 飛騨東部保木ヶ谷揚水機部分整備補修の実施 糖塚揚水機部分整備補修の実施 飛騨東部高山荒神洞揚水機部分整備補修 飛騨東部牧戸揚水機部分整備補修 土地改良事業に係る負担金を補助 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	償還払いに対する分担金	千円	目標値	944	1,530	1,300	1,150
			実績(見込)	1,395	3,688	1,300	
成果指標	償還払いによる受益者負担額の軽減	千円	目標値	958	2,311	3,422	3,645
			実績(見込)	543	2,289	3,415	
活動指標	土地改良施設の整備補修件数	件	目標値	1	2	4	2
			実績(見込)	1	2	4	
成果指標	土地改良施設の整備要望件数	件	目標値	1	2	3	2
			実績(見込)	1	5	3	
成果指標	地元分担金の助成による農家の経費節減	千円	目標値	5,298	4,319	4,217	4,066
			実績(見込)	5,298	4,318	4,217	
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
			目標値				
補足	算出根拠等		達成率(%)	100	250	100	
			目標値				
補足	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
			目標値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・土地改良施設維持管理適正化事業採択枠拡大のため、県費拡充の働きかけを行う必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。 ・負担金の補助に対しては、計画に基づき実施(債務負担)。																
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持・改善</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止検討		維持・改善	○	拡大		縮小		廃止検討	
維持・改善	○																
拡大																	
縮小																	
廃止検討																	
維持・改善	○																
拡大																	
縮小																	
廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	14,901	17,407	21,659	21,065
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	102,062	119,226	148,349	144,281
	受益者	土地改良組合、土地改良区	(B)	146	146	146

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設の修繕・改修整備 整備費用の5年分割による償還払い 旧高根村において実施された土地改良事業の地元負担に対する助成(債務負担) 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設の機能保持と長寿命化、老朽化施設の更新による農業用水の安定確保、生産向上 土地改良事業による経費軽減、農業経営の安定化の促進 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所の調整 市内の用水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数である40年以上を経過する施設が多く、その機能保全及び長寿命化が課題
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	21,659	21,065	△ 594	20,565	20,565	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	13,175	11,675	△ 1,500	11,588	11,588		
一般財源	8,484	9,390	906	8,977	8,977		